

水質汚濁

1. 土岐市の現状

土岐川は、かつて陶磁器関連工場からの排水で真っ白に濁っていました。しかし、昭和40年代半ば以降、水質汚濁防止法や岐阜県公害防止条例等の法令の整備が進み、水質が改善されました。生活排水対策としては、下水道の整備や合併処理浄化槽の設置が進められています。

公共下水道の整備状況（令和6年3月末現在）

行政区域人口（千人）（A）	処理区域人口（千人）（B）	普及率（%）（B）／（A）
54.7	46.2	84.6

2. 土岐川水系河川水質調査

生活環境の保全に関する項目についての環境基準は、河川の利用目的、水質汚濁の状況等により、各水域にAAからEまでの類型を指定し、類型ごとにpH（水素イオン濃度）、DO（溶存酸素量）、BOD（生物化学的酸素要求量）、SS（浮遊物質）及び大腸菌群数の5項目についての基準値が定められています。

○令和5年度 公共用水域の水質測定結果（年平均）

測定地点	項目	類型	BOD (mg/L)	SS (mg/L)
〈庄内川水域〉				
瑞浪大橋		A	0.9	2
天ヶ橋		B	1.4	3
三共橋		B	1.0	
〈支流〉				
小里川（はら子橋）		B	0.8	5
肥田川（肥田橋）		B	0.9	2
妻木川（御幸橋）		B	1.0	5
笠原川（桜橋）		A	0.8	4

資料＝令和6年 岐阜県環境白書